

野菜の作業

今月から春用野菜の本格的な育苗が始まります！
 栽培適温を参考とし、保温・換気に注意をしましょう！

種まき	栽培管理のポイント			
二十日大根 品種：コメット ホウレンソウ 品種：ホライ・トライ 小松菜 ハウス育苗野菜の播種 ↓温床線で保温必要 春レタス：スティイー キャベツ：YRSE ⇒ハウス用：中旬～ 春ハクサイ：優黄・彩星 ⇒ハウス用：下旬～ 果菜類（トマト・ナス等） ⇒ハウス用：上旬～	トマト・ピーマンの育苗目安 定植日から逆算し播種が遅れないように準備を進めましょう！			
	葉茎菜類の発芽適温（℃）			
	種類	最低温度	最適温度	最高温度
	キャベツ	2～3	20～25	35
	ハクサイ	4	18～22	35
	ブロッコリー	2～3	15～25	35
	レタス	3～4	15～20	30
	パセリ	3～4	18～22	30
	セルリー	3～4	15～20	30
	品目	作型	播種（旬）	定植（旬）
トマト	ハウス	2/上	4/中	65日
（ナス）	露地	3/下	5/下	60日
ピーマン	ハウス	2/上	4/下	80日
	露地	3/下	6/上	70日
園芸培土と育苗箱	規格	使用量	主な作物	
まき付け床	50cm×35cm×7.5cm	2箱	レタス・キャベツ等(4～5月植)	
ペーパーポット	4.7角×5cm (72穴)	3.6枚	ハクサイ・キャベツ・ブロッコリー等	
ポリ育苗鉢	径9cm (3寸) 3号	80鉢	レタス	
	径12cm (4寸) 4号	35鉢	キャベツ・ハクサイ等(4～5月植)	

【上記表の使用量は市販育苗培土20Kg=25鉢の目安】



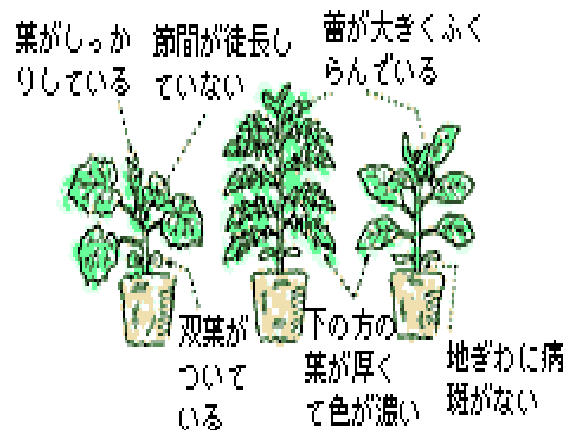
質問コーナー

農業豆知識

良い苗とはどのような苗ですか？見分け方のポイントを教えてください。

昔から苗半作と言われるように、苗の良し悪しが定植以降の生育を大きく左右します。特に果菜類では、育苗中に花芽分化（生殖成長）と生育（栄養成長）が同時に進行するため収量や品質にも大きく影響することがあります。また葉菜類では低温に遭遇せず花芽分化をしていない事が大切です。

良い苗のポイント	見分け方	管理方法
①強健である	<ul style="list-style-type: none"> 茎がしっかりしている 節間が適度に締まっている 病害虫が無い（いない） 	育苗後半は鉢づらしを行い風や日光に良く当てる（慣らしを行う）
②光合成が活発に行われている	<ul style="list-style-type: none"> 葉が素直に伸びている 葉が濃緑色で大きく、厚い 	水管理、栄養管理を適切に行う
③果菜類では	<ul style="list-style-type: none"> 充実した花芽が着いている 	温度管理を適切に行う。
④葉菜類では	<ul style="list-style-type: none"> 花芽分化をしていないこと 	



野菜用育苗培土について

野菜培土を自分で作る場合は「原土 1 : 完熟堆肥 1」の割合で混合したものに肥料を混合します。
(BB肥料MMB40号を用いた場合・・・原土 + 完熟堆肥 1 m³当たり1.2kgの肥料を混合する)

注意!	<ul style="list-style-type: none"> ・原土は無病の畑土を用いる (病気が心配な時は土壤消毒や焼却処理を行っておく) ・原土の土壤酸度を矯正しておく (pH 6~6.5程度に矯正する)
------------	--

使用する育苗培土が少ない場合は市販の育苗培土を利用すると手軽です。
ペーパーポットや連結ポット、ポリポットにも使用が可能です。

【市販の育苗培土 (JA 丸子グリーンファーム取り扱い)】

育苗培土名	成分・使用方法等
みまき野菜用育苗培土	pH6~6.5 窒素210mg/リットル 赤土に有機物、土壤改良資材を混合した培土 多くの野菜に適している 生育途中に葉色が抜けた場合は適宜追肥を行う

プラグ苗 (セル成型苗) の培土は、根回りを良くし苗が抜き易くなるよう専用の育苗培土を用います。育苗日数により窒素量を代えた培土が市販されています。

育苗培土名	成分・使用方法等
プリティーソイルN-60	窒素60mg/リットル NKプラグ専用培土 レタスに向く
プリティーソイルN-100	窒素100mg/リットル NKプラグ専用培土 ハクサイに向く (低温期のレタス)
プリティーソイルN-140	窒素140mg/リットル NKプラグ専用培土 果菜類に向く (低温期のハクサイ)
与作N-25	窒素250mg/リットル セル成型育苗培土 パーミュキュライト・ピートモスが主原料で葉野菜に向く

果樹の作業

黒木消毒について! 【黒木消毒とは・・・】

落葉樹は寒さが厳しい冬期間、葉を落として「休眠」に入りますが・・・
ハダニ・カイガラムシ等の害虫や「りんご黒星病」等に代表される病原菌も樹皮の隙間等で越冬しています。
葉を落としている時期 (黒木) に、黒木消毒 (石灰硫黄合剤) を行うことで、病虫害の密度を減らすことができます。
「石灰硫黄合剤」は「落葉果樹」に登録があります。



石灰硫黄合剤の登録について

作物名	適用病害虫名	使用時期 (旬)	希釈倍数	使用方法
落葉果樹 (うめ・プルーン等)	カイガラムシ類 ハダニ類	発芽前	7倍	散布
りんご	黒星病			
もも	縮葉病・胴枯病・黒星病			

【注意事項】

- ・石灰硫黄合剤は強アルカリ性である。
⇒銅製剤・マシン油乳剤・ボルドー液などアルカリ性が強い薬剤とは混用しない。
⇒有機りん剤等、アルカリで分解しやすい薬剤とは混用しない。
⇒皮膚や目に入らぬよう十分に注意して散布を行う。



野菜ひとくちメモ レタス

原産地は中近東内陸部の小アジア地方とされています
幾つか種類がありますが、現在国内で多く作られている
種類は「玉レタス (クリップヘッド型)」「サラダ菜」「リーフレタス」
が代表的なものです。(あの山くらげもステムレタスと云うレタスの仲間です)
玉レタスは明治期に導入されましたが当初は栽培面積も少ない品目でした。
戦後食生活の洋風化に伴い急速に消費が増加しました。
現在、長野県の栽培面積は約 6,000ha (全国 1位) ビタミン A,C を多く含み
歯切れの良さと、さわやかな風味で欠くことができない野菜となっていますね!